

令和2年度 復旧・復興カレンダー

引出線凡例 赤:復旧・復興事業関係 緑:従来事業 橙:その他

5月11日 蔵王エコライン開通



3月から除雪を始めていた県道白石上山線蔵王エコラインの冬期通行止めが解除されました。

6月9日～11日 土砂災害防止月間パトロール



土砂災害防止月間に合わせて、市・町の職員や砂防ボランティアと合同で、管内2市5町の土砂災害危険箇所（19箇所）のパトロールを実施しました。

9月8日 道路クリーンキャンペーン



8月の「道路ふれあい月間」の一環として、宮城県建設業協会仙南支部と合同で、道路清掃（道路延長約37km）を実施し、約285kgのゴミを回収しました。

10月5日 令和2年災害査定



7月28日～29日の豪雨により被災した土木施設について、災害査定を受けました。若手技術職員の貴重な経験を積むことができました。

11月16日 県道大河原高倉線植栽活動



宮城県建設業協会仙南支部と合同で県道大河原高倉線大河原合同庁舎前の花壇に植栽しました。パンジーとチューリップ（約2千株）を植栽しました。

2月14日 福島県沖地震(2月13日発生)のブロック塀等緊急点検実施

3月11日 白川内親災害防除事業完成



県道白石柴田線白石市白川内親地区の災害防除事業について完成しました。大雨等による道路の安全を確保することができました。

5月28日 土木部災害功労者表彰式



令和元年東日本台風による被災箇所の応急工事に顕著な役割を果たした建設企業に対して、管内16社に感謝状を授与しました。

6月26・30日 令和元年東日本台風に伴う河川災害復旧事業計画説明会



内川水系に係る令和元年東日本台風の河川復旧計画等について、国交省南部復興事務所、県、丸森町の合同で、住民説明会を開催しました。2日間で62名の住民が参加しました。

7月21日 建設業・若手人材育成のための災害復旧現場見学会



宮城県建設業協会仙南支部（主催）と国、県との合同で、柴田農林高校生徒を対象に、道路災害復旧工事の現場見学会を開催しました。

9月23日 破堤3河川本復旧工事完了



令和元年東日本台風で破堤した高倉川（角田市）、半田川（角田市）、斎川（白石市）の3河川について、23日までに本復旧工事が完了しました。

10月15日 スマイルサポーター感謝状贈呈



環境美化の功績が認められ、角田市横倉地区の住民に国土交通大臣から感謝状が授与されました。また、白石市上原自治会と北船岡河川敷公園の景観を良くする会にも、県から感謝状が授与されました。

2月16日 七ヶ宿町関地区道路融雪施設完成



七ヶ宿町関地区で町の賑わい拠点施設（入浴・図書館等）と連携して整備していた道路融雪施設が完成しました。今後、町・入浴施設の熱を利用して、道路の融雪を行っていきます。

1. 事業目標

- ◇『令和元年東日本台風』による災害からの早期復旧の推進
- ◇震災復興後を見据えた、新たな整備と維持管理とのバランスの取れた社会資本整備の推進
- ◇ゲリラ豪雨や蔵王山噴火等、仙南地域の特徴を踏まえた災害に強い社会資本整備の推進

この3つの目標により、仙南地域の振興発展と暮らしの安全・安心を支え、豊かさを実感できる県土づくりを推進する。

2. 主な施策

- 『令和元年東日本台風』で被災した公共土木施設の早期復旧の推進
 - ①仙南地域の社会経済活動を支える道路施設の早期復旧の推進
 - ②仙南地域住民の安全・安心な暮らしを支える河川災害復旧と砂防事業の推進
- 仙南地域の産業振興や広域防災に資する基幹的インフラの整備
 - ①広域幹線道路ネットワークを形成する東西交通軸の整備
 - ②地域間の交流連携を支援する幹線道路の整備
- 防災・減災体制の強化
 - ①災害に強い道路の整備推進と「予防保全型」の維持管理への転換
 - ②ゲリラ豪雨による浸水被害や土砂災害を防止する河川・砂防事業の推進
 - ③蔵王山噴火に備えた防災体制の強化
- 仙南地域の住民の日常生活を支える土木・建築行政の推進
 - ①歩行者の安全・安心で快適な空間確保のための歩道整備の推進
 - ②県境を結ぶ幹線道路の除雪体制の強化
 - ③多様な主体との連携による道路・河川の維持管理体制の強化
 - ④住まいに関わる許認可・相談等の円滑な推進

3. 主要な事業

- 『令和元年東日本台風』で被災した公共土木施設の早期復旧の推進
 - ①仙南地域の社会経済活動を支える道路施設の早期復旧の推進
 - ・一般県道丸森梁川線災害関連事業（丸森町）
 - ・主要地方道丸森霊山線災害復旧事業（丸森町）
 - ②仙南地域住民の安全・安心な暮らしを支える河川災害復旧と砂防事業の推進
 - ・雉子尾川災害復旧事業（丸森町）
 - ・内川，新川，五福谷川災害復旧・助成事業直轄権限代行事業（丸森町）
 - ・内川，新川，五福谷川砂防災害関連緊急事業特定緊急砂防事業直轄権限代行事業（丸森町）

- ・阿武隈川流域災害関連緊急砂防事業及び砂防激甚災害対策特別緊急事業（丸森町）

■仙南地域の産業振興や広域防災に資する基幹的インフラの整備

①広域幹線道路ネットワークを形成する東西交通軸の整備

- ・国道 113 号福岡蔵本道路改良事業（白石市）
- ・国道 286 号支倉道路改良事業（川崎町）
- ・主要地方道仙台村田線菅生スマート IC 整備事業（村田町）
- ・都市計画道路小池石生線末広町街路事業（村田町）

②地域間の交流連携を支援する幹線道路の整備

- ・主要地方道白石丸森線大鷹沢大町道路改良事業（白石市）
- ・主要地方道白石丸森線大張舘矢間道路改良事業（角田市・丸森町）
- ・主要地方道丸森柴田線坂津田道路改良事業（角田市）
- ・主要地方道丸森霊山線日向道路改良事業（丸森町）
- ・一般県道蔵王大河原線新寺道路改良事業（大河原町）

■防災・減災体制の強化

①災害に強い道路の整備推進と「予防保全型」の維持管理への転換

- ・主要地方道亙理大河原川崎線荒川橋耐震補強事業（村田町）
- ・主要地方道亙理大河原川崎線東根橋橋梁補修事業（角田市）
- ・主要地方道白石柴田線白川内親災害防除事業（白石市）
- ・主要地方道丸森霊山線丸森橋橋梁補修事業（丸森町）
- ・主要地方道白石上山線円田土浮山土砂災害対策事業（蔵王町）

②ゲリラ豪雨による浸水被害や土砂災害を防止する河川・砂防事業の推進

- ・一級河川雉子尾川河川改修事業（丸森町）
- ・一級河川小田川河川改修事業（角田市）
- ・南台沢通常砂防事業（白石市）
- ・小屋館沢通常砂防事業（丸森町）

③蔵王山噴火に備えた防災体制の強化

- ・松川火山砂防事業（蔵王町）

■仙南地域の住民の日常生活を支える土木・建築行政の推進

①歩行者の安全・安心で快適な空間確保のための歩道整備の推進

- ・主要地方道白石上山線宮歩道整備事業（蔵王町）

②県境を結ぶ幹線道路の除雪体制の強化

- ・国道 113 号及び 349 号などの県際道路の除雪体制の強化（管内市町）

- ・国道 113 号関消雪施設設置事業（七ヶ宿町）
- ③多様な主体との連携による道路・河川の維持管理体制の強化
 - ・主要地方道白石柴田線大谷道路改良事業（大河原町）[コラボ事業]
 - ・一般県道川前白石線耕谷道路改良事業（丸森町）[コラボ事業]
 - ・一級河川白石川大谷地区白石川河川環境整備事業（大河原町）[コラボ事業]

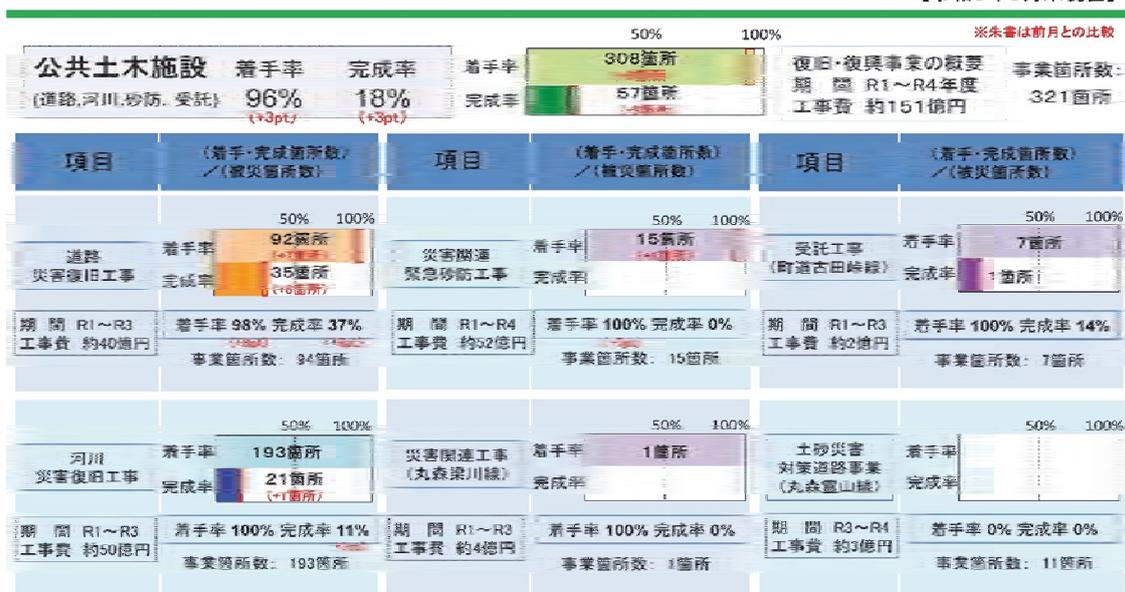
4. 令和元年東日本台風災害復旧事業

復旧・復興事業は、丸森町からの受託事業を含めて 321 箇所、約 151 億円、その内訳は、道路災害 94 箇所、河川災害 193 箇所、災害関連緊急砂防 15 箇所等となっており、令和 4 年度までの事業完了を目指しています。

令和 3 年 3 月末現在、全体の 96% に当たる 308 箇所に着手しており、18% に当たる 57 箇所が完成しています。

大河原土木事務所

令和元年東日本台風からの復旧・復興事業の進捗状況【令和3年3月末現在】



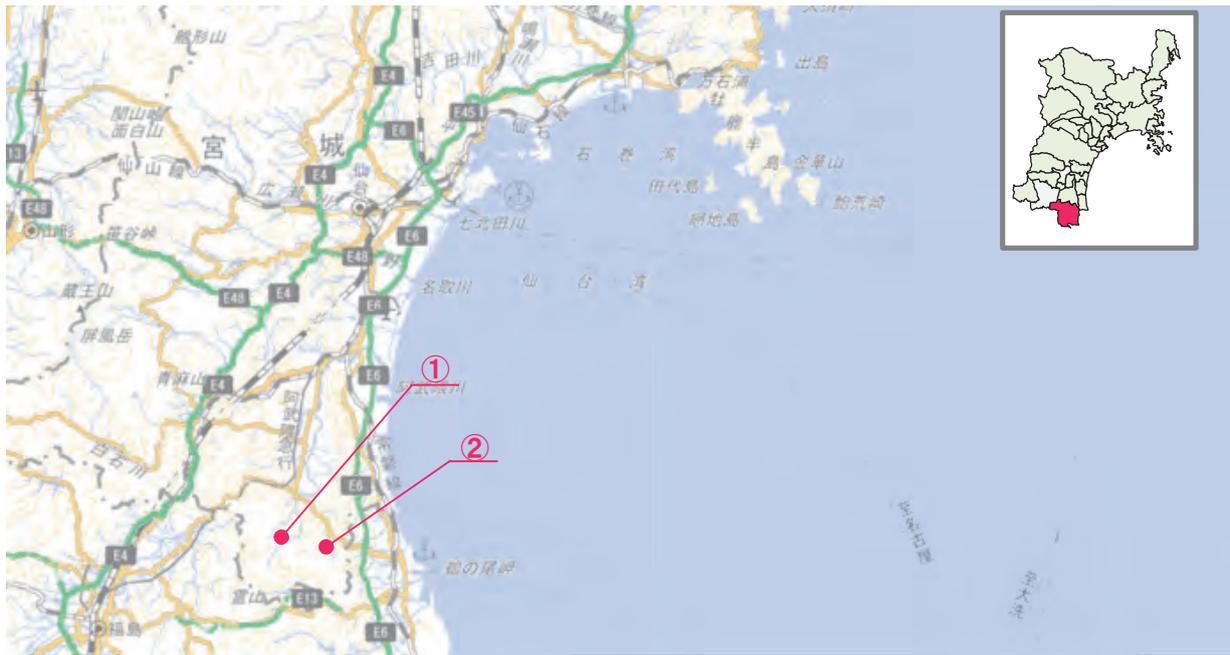
5. 課題と対応方針

令和元年東日本台風災害復旧工事の早期発注と早期復旧の推進が求められた1年でした。

令和3年度から管内一円において災害復旧工事が本格化しますが、マンパワーを超える事業量（通常事業・災害復旧事業）となっていることから、工事管理や現場打合せなどに対して、発注者支援業務やWEB打合せ等を活用しながら、効率的に工事を推進していく必要があります。

また、丸森町内の災害復旧工事は、多数の機関（国・県・町）が発注し、工事が輻輳していることから、円滑な工事進捗に向けて、「現場内外の安全管理」「資材の安定供給」などについて、発注機関及び施工業者等による情報共有の場を設けて、課題解決に取り組む必要があります。

令和元年東日本台風災害復旧・復興状況の写真



着手前



① (主) 丸森霊山線 丸森町筆甫地内
道路災害復旧事業

施工中



① 令和3年3月 現在
施工中 (一部完成)

着手前



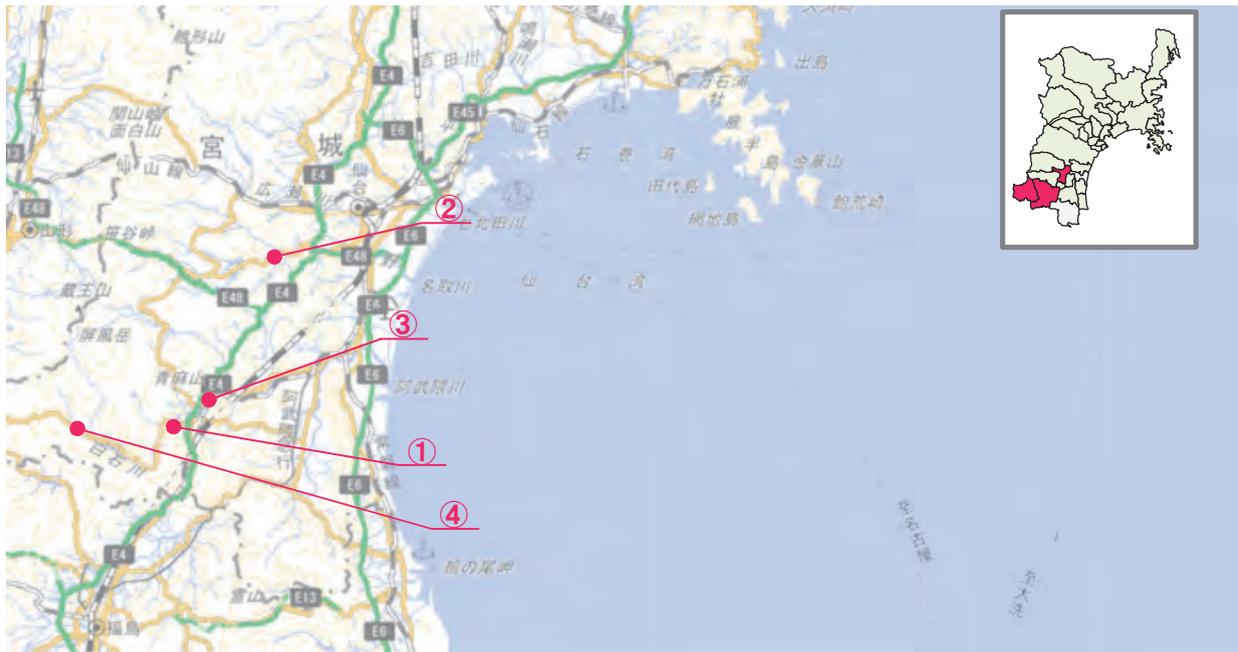
② 雉子尾川 丸森町大内地内
河川災害復旧事業

施工中



② 令和3年3月 現在
施工中 (一部完成)

道路施設の再生・復興状況の写真



着手前



① (国) 113号 白石市福岡蔵本地内
道路改良事業

施工中



① 令和3年3月 現在
施工中

着手前



② (国) 286号 川崎町支倉地内
道路改良事業

施工中



② 令和3年3月 現在
施工中

着工前



③ (主) 白石柴田線 白石市内親地内
災害防除事業

完成



③ 令和3年3月 現在
完 成

着手前



④ (国) 国道113号線 七ヶ宿町関地内
関消雪施設設置事業

完成



④ 令和3年3月 現在
完 成

河川・砂防施設の再生・復興状況の写真



着工前



① 小田川 角田市角田大沼地内
河川改修事業（築堤）

施工中



① 令和3年3月 現在
施工中

着工前



② 松川 蔵王町遠刈田温泉地内
火山砂防事業（流路工）

施工中



② 令和3年3月 現在
施工中

令和2年度 復旧・復興カレンダー

引出線凡例 赤:復旧・復興事業関係 緑:従来事業 橙:その他

5月18日 Web会議を開催

(主)相馬互理線 復興交付金事業

働き方改革の一環として、打ち合わせなどに要する移動時間の短縮を図るため、ICTを活用した手法の導入を模索しています。今回は、初めて既存の端末等を利用して、Web会議にて発注者・施工者・CM業務受託者の3者会議を実施しました。



8月20日～ gacco研修「防災学」を受講



東日本大震災の教訓を踏まえ、実践的な防災学の礎を築くため、東北大学災害科学国際研究所が製作したウェブサービス型の講座を計4回にわたり受講し、防災の視点や伝承の取組について学びました。

11月5日 ICT施工現場の見学会を開催

(主)相馬互理線 復興交付金事業

古川工業高等学校の生徒約40名へ、ICT施工における従来工法との違いやメリットについて、建設機械へ搭乗しながら機器類等の説明を行いました。



12月25日 (一)大衡仙台線 大和町宮床地内 宮床工区(社会資本整備総合交付金事業)の開通式を開催



大和町の宮床工区約2.3km区間については、平成24年度から事業を進め今年度完成しました。開通により、県北圏域と仙台市を結ぶ南北軸が強化され、地域間の交流促進、経済活動の活性化が期待されます。

3月17日 二級河川七北田川水系七北田川 七北田川河川災害復旧事業の完了 仙台市宮城野区蒲生地内

七北田川河川災害復旧工事L=379mが完成しました。この工事の完成により、平成23年度から進めてきたL=4,901mの七北田川河川災害復旧事業が完了しました。



3月23日 一級河川名取川水系南貞山運河 南貞山運河災害復旧事業の完了 名取市下増田地内



南貞山運河河川災害復旧工事L=154mが完成しました。この工事の完成により、平成25年度から進めてきたL=4,895mの南貞山運河河川災害復旧事業が完了しました。

3月26日 (主)相馬互理線 山元町山寺地内外 坂元・山寺工区(復興交付金事業)の供用開始

福島県新地町から山元町を経由し互理町までの11.2kmにおよぶ嵩上げ道路が、令和3年3月26日に開通しました。開通により、多重防御施設としての津波被害への減災機能に加え、地域間交流の促進や、観光振興などに寄与することが期待されます。



6月29日 二級河川高城川水系高城川 松島町高城地内 高城川河川改修事業の完了

高城川護岸改修工事L=32mが完成しました。この工事の完成により、平成28年度から進めてきたL=1,140mの高城川河川改修事業が完了しました。



10月3日 (一)高城停車場線 松島町高城地内 松島橋(災害復旧事業)の開通式を開催



二級河川高城川に架かる松島橋は、平成24年から災害復旧工事を進めてきました。高城川左右岸が結ばれることで、松島町の復興はもとより、観光振興など地域の発展期寄与することが期待されます。

11月9日～ 災害査定を受検(第2次査定)

10月5日からの第1次査定に続き、「9月10日から14日にかけての豪雨」による被災箇所の第2次査定を受検しました。仙台土木事務所では、二級河川坂元川水系坂元川の1件を受検しました。



12月10日 「橋梁補強・補修に関する研修会」を開催



宮城県コンクリート診断士会の協力により、「橋梁補強・補修に関する研修会」を開催しました。今回は、対面による研修のほか、管内市町が参加したオンライン研修を併せて行い、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図りました。

3月20日 北貞山運河・南貞山運河への桜の植樹 仙台市若林区荒浜地内

災害復旧事業が完了した北貞山運河、及び南貞山運河沿いに桜を植樹しました。

桜を植樹することで運河に新たな景観を創出し、東日本大震災からの復興の象徴となるとともに、津波意識の醸成や津波体験の伝承を目的としています。



3月25日 浦戸地区海岸朴島地先海岸 朴島地先海岸(東側)災害復旧事業の完了 塩竈市浦戸野々島宇朴島地先



朴島東海岸で行われてきた傾斜式堤防L=187.4mと樋管N=1基の工事が完成しました。この工事の完成により、朴島地先海岸(東側)災害復旧事業が完了し、津波に対する島内の安全が図られます。

3月30日 (一)利府中インター線 塩竈市庚塚地内 庚塚工区(I期)(社会資本整備総合交付金(復興枠)事業)の完了

塩竈市の庚塚工区約460m区間については、平成21年度から事業を進めてきました。今回の開通により、塩釜圏域の活性化や、水産物の物流機能の強化、地域の観光振興に寄与し、高速交通体系と直結する重要な路線として期待されます。



1. 事務所の動き

令和2年度は、「宮城県社会資本再生・復興計画」の「発展期」の三年目であり、東日本大震災からの復旧・復興の総仕上げとして重要な年となるため、先進的な減災・防災機能を備えた災害に強い安全・安心な地域づくりに向けて、自治法派遣職員7名を含む職員144名（R2.4.1現在）が一丸となり各種事業を推進してきた。

震災の復旧・復興事業に加え、平成28年度から行っている東部土木事務所の業務支援等によるマンパワー不足に対応するため、発注者支援業務などを活用して職員の負担軽減を図ってきた。また、職場における新型コロナウイルス感染症対策の拡大防止や、働き方改革の一環として、打ち合わせなどに要する移動時間の短縮等を目的とし、積極的なWeb会議の活用、オンライン研修、及びリモートによる段階確認の試行等も行った。

令和2年度の仙台土木事務所全体の事業費は、現年予算255億円と繰越予算162億円を合わせて417億円となった。このうち、東日本大震災の復旧・復興事業が195億円で全体の47%を占めている状況であり、その他の各種通常事業として、地域の発展を支える（一）大衡仙台線の整備や、災害に強い川づくりを目指す吉田川床上浸水対策特別緊急事業、橋梁の耐震化、及び長寿命化対策事業なども併せて進めてきた。

このうち、令和2年度は、災害復旧事業の（一）高城停車場線の松島橋、通常事業の（一）大衡仙台線の宮床工区の供用を開始し、併せて開通式を実施した。復興交付金事業の（主）相馬亘理線も4.7km区間の供用により、全線供用開始した。また、七北田川河川災害復旧事業、朴島地先海岸（東側）災害復旧事業等も事業完了となった。

当事務所では、「仕事に誇りを持ち、時間管理・進行管理を徹底し、情報の共有とチームワークを図り、職員一丸となって取り組んでいく。」、「地域の思いをしっかり受け止めながら、市町村や多様な関係団体との連携・協働の強化を図り、円滑かつ着実に事業を推進する。」、「新型コロナ対策を含め、危機管理を徹底するとともに、不測の事態に備えた先手管理を行っていく。」ことを事務所の取組姿勢とし、事業推進に取り組んだ。

2. 災害復旧事業（東日本大震災）

当事務所管内の公共土木施設災害復旧事業は、470箇所全ての箇所に着手しており、今年度は8事業が完了し合計で466箇所（約99%）が完了した。また、金額ベースでは、全体事業費1,396億円に対して、完成が1,207億円（約87%）となっているが、出来高支払いベースでは、1,365億円（約98%）であり、着実に事業が進んだ一年となった。

東日本大震災 災害復旧事業の進捗状況(R3.3月末)

| | | 全体 | 完成 | 工事中 | | 未着手 | 完成率 | 着手率 | 支払ベース | |
|------|--------|--------|--------|-------|-------|-----|-------|------|--------|-------|
| | | | | 工事費 | 支払額 | | | | 金額 | 進捗率 |
| 道路関係 | 箇所 | 361 | 360 | 1 | — | 0 | 99.7% | 100% | | |
| | 金額(億円) | 190.2 | 149.3 | 40.9 | 27.6 | 0 | 78.5% | 100% | 176.9 | 93.0% |
| 河川関係 | 箇所 | 109 | 106 | 3 | — | 0 | 97.2% | 100% | | |
| | 金額(億円) | 1205.7 | 1058.0 | 147.7 | 129.7 | 0 | 87.7% | 100% | 1187.7 | 98.5% |
| 全体 | 箇所 | 470 | 466 | 4 | — | 0 | 99.1% | 100% | | |
| | 金額(億円) | 1395.9 | 1207.3 | 188.6 | 157.3 | 0 | 86.5% | 100% | 1364.6 | 97.8% |

(R3. 3月末：復興のあゆみVol.31、震災10年目の記録)

※金額は、工雑除き

令和2年度の主な完成箇所は、下記の事業である。



七北田川河川災害復旧事業



南貞山運河河川災害復旧事業



戸花川河川災害復旧事業



朴島地先海岸（東側）災害復旧事業

3. 復興事業

(1) 復興交付金事業

被災市街地復興土地区画整理事業や防災集団移転促進事業など、市町の復興まちづくりを支援する復興道路、公園及び河川の整備は、15事業を実施しており、令和2年度末までに11事業が完成した。

用地補償が難航していた（主）相馬互理線及び（都）山下駅前線、（都）八幡築港線については、丁寧な説明と粘り強い交渉を行うとともに、事業認定を経て収用裁決申請の手続きが完了した。（都）山下駅前線では、用地取得が完了した箇所から随時工事を推進し、事業延長L=2.17kmのうちL=1.85kmの供用を開始し、（主）相馬互理線については、令和3年3月に全線（L=11.2km）供用させることができた。

復興交付金事業の進捗状況(R3. 3月末)

| | | 全体 | 完成 | 工事中 | | 完成率 | 支払ベース | |
|------|--------|-------|-------|-------|------|------|-------|------|
| | | | | 工事費 | 支払額 | | 金額 | 進捗率 |
| 河川事業 | 箇所 | 2 | 1 | 1 | — | 50% | | |
| | 金額(億円) | 8.9 | 3.0 | 5.9 | 2.5 | 34% | 5.5 | 62% |
| 道路事業 | 箇所 | 9 | 8 | 1 | — | 89% | | |
| | 金額(億円) | 195.2 | 192.4 | 2.8 | 1.7 | 99% | 194.1 | 99% |
| 街路事業 | 箇所 | 3 | 1 | 2 | — | 33% | | |
| | 金額(億円) | 98.2 | 6.5 | 91.7 | 87.0 | 7% | 93.5 | 95% |
| 公園事業 | 箇所 | 1 | 1 | 0 | — | 100% | | |
| | 金額(億円) | 13.9 | 13.9 | 0 | 0 | 100% | 13.9 | 100% |
| 全体 | 箇所 | 15 | 11 | 4 | — | 73% | | |
| | 金額(億円) | 316.2 | 215.8 | 100.4 | 91.2 | 68% | 307 | 97% |



(主) 相馬亘理線が全線供用開始



(一) 山下停車場線が一部完成

(2) 社会資本整備総合交付金(復興枠)事業

令和2年度は、道路事業で4箇所、河川海岸事業で6箇所を実施しており、道路事業においては、(主)大和松島線の山崎橋と(一)利府中インター線(庚塚工区)の2箇所が完成し、河川海岸事業においては、川内沢川等4箇所が完成した。



(一) 利府中インター線の庚塚工区が完了



川内沢川河川改修事業が完了

4. 東部土木事務所の業務支援

東部土木事務所の業務支援事業一覧表:11 事業

東部土木事務所の業務支援事業一覧表：11事業

| 工 種 | 事 業 名 | 事業区分 | 事業期間 |
|-----|------------|-------|-------|
| 道路 | 野蒜道路災害復旧事業 | 災害復旧 | H30完了 |
| | 洲崎道路改良事業 | 復興交付金 | 事業中 |
| | 宮戸道路改良事業 | 復興交付金 | 事業中 |
| 河川 | 東名運河 | 災害復旧 | H30完了 |
| 海岸 | 洲崎地先海岸 | 災害復旧 | 事業中 |
| | 大曲地先海岸 | 災害復旧 | H29完了 |
| | 浜市地先海岸 | 災害復旧 | H29完了 |
| | 鱧ヶ淵地先海岸 | 災害復旧 | H28完了 |
| | 長石地先海岸 | 災害復旧 | R2完了 |
| | 長浜地先海岸 | 災害復旧 | H30完了 |
| | 東名地先海岸 | 災害復旧 | H29完了 |

平成 28 年 9 月から、東部土木事務所における復旧・復興事業の推進を図るため、当事務所において、東松島市(旧鳴瀬町)分の災害復旧 9 事業(道路 1, 河川 1, 海岸 7), 復興道路事業 2 事業の計 11 事業について業務支援を行った。

令和 2 年度の支援体制は、25 名(プロパー職員 22 名, 自治法派遣職員 3 名)が東部土木事務所との兼務発令により対応しており、1 事業(長石地先海岸災害復旧事業)については今年度に事業完了し、3 事業については継続して事業を行っている。



令和 2 年 9 月 30 日に(主)奥松島松島公園線の洲崎工区 L=1.8km の部分供用を開始した。

令和 3 月 3 月 23 日に同路線の松ヶ島橋を含む宮戸工区 L=0.4km の部分供用を開始した。

事業中の「洲崎・宮戸道路改良事業(復興交付金)」と「洲崎地先海岸災害復旧事業」



平成 27 年度から工事着手し、全体延長 L=330m の海岸堤防(TP+4.3m)が令和 2 年 11 月に完成した。

事業完了の「長石地先海岸災害復旧事業」

5. 通常事業

(一)大衡仙台線の宮床工区は、舗装工事が完了し、令和2年12月25日に約2.3km区間の供用開始をすることができた。なお、令和3年度から、引き続き吉岡大衡工区が事業着手の予定となっている。

また、吉田川床上浸水対策特別緊急事業では、用地隘路を除く箇所での用地買収を行い、4件の工事を発注し、前年度発注と合わせ10件の工事を実施した。



(一)大衡仙台線宮床工区の供用開始



吉田川床上浸水対策特別緊急事業(施工中)

6. 10年目の課題

①事業進行管理について

復旧・復興事業を令和3年度まで完了させるため、各事業における進行管理や打合せを各部内で定期的に行うとともに、所内での進行管理会議には、主務課も参加し、問題や懸案事項の解決に向けた検討を行うなど、情報共有を図りながらきめ細やかな進行管理を行った。

②用地隘路箇所について

用地取得については、特に自治法派遣職員の懸命な努力もあり、今年度末で要取得筆数の99.9%まで取得することができた。

残り2筆については、土地収用法による収用裁決を得ており、令和3年度早々に権利取得できる見込みである。

復旧・復興事業における用地取得状況(R3.3月末)

| 区分 | 要取得筆数 | H30 | | R1 | | R2 | | R3以降 残数 |
|------|--------|--------|-------|--------|--------|--------|--------|------------|
| | | 取得累計 | 取得率 | 取得累計 | 取得率 | 取得累計 | 取得率 | |
| 復旧事業 | 1,319筆 | 1,318筆 | 99.9% | 1,319筆 | 100.0% | 1,319筆 | 100.0% | 0筆 |
| 復興事業 | 1,700筆 | 1,648筆 | 96.9% | 1,674筆 | 98.5% | 1,698筆 | 99.9% | 2筆 |
| 合計 | 3,019筆 | 2,966筆 | 98.2% | 2,993筆 | 99.1% | 3,017筆 | 99.9% | 2筆 |

③マンパワー不足について

平成 29 年の九州北部豪雨及び平成 30 年 7 月の西日本豪雨による自治法派遣職員の打ち切りなどによりマンパワー不足が一層顕著となったほか、用地業務において災害復旧事業の買収がほぼ完了するなど、事業の進捗に伴い各班の業務量に差が生じた。このため、引き続き監督支援業務や積算業務を活用するとともに、平成 30 年度からは CM 業務を活用した。令和 2 年度は、3 件の CM 業務を活用し、職員の負担軽減を図った。

また、打ち合わせなどに要する移動時間の短縮等を目的とし、積極的な Web 会議の活用、オンライン研修、及びリモートによる段階確認の試行も行った。



事務所内での段階確認状況



護岸基礎の床付け完了を段階確認

道路施設の再生・復興状況の写真



国土地理院の電子地形図に位置を追記して掲載

着工前



① (都)八幡築港線 塩竈市舟入地内
復興交付金事業

施工中



① 令和3年2月
施工中

着手前



② (一)利府中インター線 塩竈市庚塚地内
社会資本整備総合交付金(復興枠)事業

完成



② 令和3年3月
完成

道路施設の再生・復興状況の写真



国土地理院の電子地形図に位置を追記して掲載

着工前



① (主) 相馬互理線 山元町坂元地内
復興交付金事業 舗装工

完成



① 令和2年12月
完成

着工前



② (主) 相馬互理線 山元町坂元地内
復興交付金事業 道路改良工

完成



② 令和2年11月
完成

道路施設の再生・復興状況の写真

着工前



③ (主) 相馬互理線 山元町山寺地内
復興交付金事業 橋梁上部工

完成



③ 令和3年1月
完成

着工前



④ (一) 山下停車場線 山元町浅生原地内
復興交付金事業 道路改築(拡幅)

完成



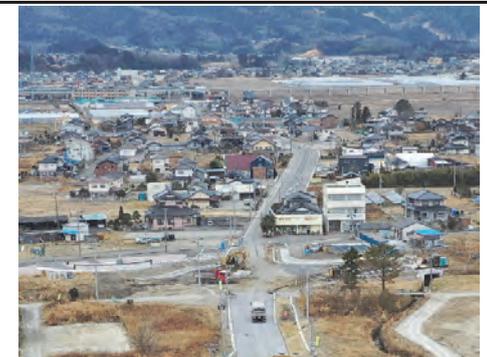
④ 令和2年10月
完成

着工前



⑤ (一) 山下停車場線(角田山下線)山元町山寺地内
復興交付金事業 道路改築(ラウンドアバウト交差点部)

施工中



⑤ 令和3年2月
施工中

道路施設の再生・復興状況の写真



国土地理院の電子地形図に位置を追記して掲載

着工前



① (一) 高城停車場線 松島町高城地内
災害復旧事業

完成



① 令和2年10月3日
供用開始

着工前



② (一) 大衡仙台線 大和町宮床地内
社会資本整備総合交付金（通常）事業

完成



② 令和2年12月25日
供用開始

道路施設の再生・復興状況の写真

着工前



③ (主) 利府松山線 大郷町粕川地内
防災・安全社会資本整備交付金事業

完成



③ 令和2年12月
完成

着工前



④ (国) 346号 松島町幡谷地内 (品井沼大橋)
社会資本整備総合交付金 (復興枠) 事業

完成



④ 令和2年5月
完成 (耐震補強工事)

着工前



⑤ (国) 346号 松島町幡谷地内 (幡谷大橋)
社会資本整備総合交付金 (復興枠) 事業

施工中



⑤ 令和3年3月
施工中 (耐震補強工事)

道路施設の再生・復興状況の写真



国土地理院の電子地形図に位置を追記して掲載

着工前



① (主) 塩釜亘理線 名取市閑上地内
復興交付金事業

施工中



① 令和3年2月
一部完成

着工前



② (都) 植松田高線 名取市小山地内
社会資本整備総合交付金(通常)事業

施工中



② 令和2年10月
一部完成

河川・海岸保全施設の再生・復興状況の写真



国土地理院の電子地形図に位置を追記して掲載

着工前



① 二級河川七北田川水系七北田川 仙台市宮城野区蒲生地内（左岸）
災害復旧事業

完成



① 令和3年3月
完成

着工前



② 菖蒲田海岸 七ヶ浜町菖蒲田浜地先
社会資本整備総合交付金（復興枠）事業

完成



② 令和2年12月
完成

河川・海岸保全施設の再生・復興状況の写真

着工前



③ 一級河川名取川水系南貞山運河 名取市下増田地内
災害復旧事業

完成



③ 令和3年3月
完成

着工前



④ 一級河川名取川水系川内沢川放水路 名取市下増田地内
社会資本整備総合交付金（復興枠）事業

完成



④ 令和3年2月
完成

着工前



⑤ 一級河川名取川水系増田川 名取市下増田地内
社会資本整備総合交付金（復興枠）事業

完成



⑤ 令和2年10月
完成

河川・海岸保全施設の再生・復興状況の写真



国土地理院の電子地形図に位置を追記して掲載

着工前



① 311地震災第1464号 野々島地区海岸
災害復旧事業

施工中



① 令和3年2月
施工中

着工前



② 311地震災第1460号 朴島地先海岸（南側）
災害復旧事業

施工中



② 令和3年2月
施工中

河川・海岸保全施設の再生・復興状況の写真

着工前



③ 311地震災第1459号 朴島地先海岸（東側）
災害復旧事業

完成



③ 令和3年3月
完成

着工前



④ 一級河川鳴瀬川水系吉田川 大和町吉田地内
床上浸水対策特別緊急事業

一部完成



④ 令和3年2月
施工中

着工前



⑤ 二級河川旧砂押川 七ヶ浜町遠山三丁目地内
社会資本整備総合交付金（復興枠）事業

施工中



⑤ 令和3年2月
施工中

河川・海岸保全施設の再生・復興状況の写真



国土地理院の電子地形図に位置を追記して掲載

着工前



① 一級河川阿武隈川水系五間堀川 岩沼市下野郷地内
五間堀川河川改修工事

完成



① 令和3年1月
完成

着工前



② 一級河川阿武隈川水系五間堀川（赤井江） 岩沼市下野郷地内
五間堀川赤井江越流堤工事

施工中



② 令和3年3月
施工中

河川・海岸保全施設の再生・復興状況の写真

着工前



③ 二級河川坂元川水系戸花川 亶理郡山元町坂元地内
戸花川外河川災害復旧工事

完成



③ 令和3年3月
完成

着工前



④ 二級河川坂元川水系坂元川 亶理郡山元町坂元地内
坂元川外河川災害復旧工事

施工中



④ 令和2年12月
施工中

着工前



⑤ 二級河川坂元川水系坂元川 亶理郡山元町坂元地内
坂元川河川改修工事

完成



⑤ 令和3年3月
完成



令和2年度 復旧・復興カレンダー

引出線凡例 赤:復旧・復興事業関係 緑:従来事業 橙:その他

4月23～24日 災害復旧にかかる地元説明会の開催



令和元年東日本台風により破堤被害を受けた渋井川、名蓋川周辺の住民に対し、災害復旧にかかる事業説明会を開催し、工事への理解と協力を求めました。併せて、その後実施する河川堤防点検についても説明を行いました。

6月17日 街路整備にかかる説明会の開催



(都) 鹿島台駅前線の街路整備に際し、地元住民へ計画説明を行いました。当日、計画の概要や測量の立ち入り等について説明を行い、地元住民の理解を求めました。

7月16日 河道掘削工事の完成(田川)



土砂の堆積が著しかった田川と鳴瀬川合流部において河道掘削を行い、治水安全度の向上を図りました。

8月26日 道路クリーンキャンペーンの実施



当事務所と宮城県建設業協会大崎支部は、毎年8月の「道路愛護月間」に道路クリーンキャンペーンを実施しました。

33回目の今年度は、県管理国県道18路線、134kmにおいて清掃活動を実施しました。

12月7日 大江川床上浸水対策特別緊急事業(竹ノ内2号橋・護岸工の完成)



市街地を流れる大江川では、浸水被害の軽減に向け、床上浸水対策特別緊急事業を実施しています。昨年施工した函渠工に続き、接続する矢板護岸が完成し、当該区間について通水することができました。また、捷水路に併せて整備を行ってきた市道竹ノ内中線の橋梁は、12月に架設が完了しました。今後、仮設道路の撤去等を行い、早期の通行開始を目指します。



10月～3月 通学路に係るブロック塀点検を実施



平成28年熊本地震や平成30年大阪北部地震等、近年の地震災害を踏まえ、通学中の学童の安全確保を図るためスクールゾーン内にある危険なブロック塀の点検を行いました。その後、2月13日の福島県沖の震度5強の地震を受け、緊急点検も行いました。

4月17日～5月8日 県道における冬期通行規制の解除



冬期通行規制区間について、(一) 岩入一迫線と(二) 沼倉鳴子線は4月17日、(主) 最上鬼首線は5月8日に規制を解除しました。栗駒国立公園を中心とした行楽地や温泉地への往来が可能となり、観光振興や交流拡大等の効果が期待されます。

6月9～12日 土砂災害防止月間におけるパトロールの実施



毎年6月の「土砂災害防止月間」に、崖地等のパトロールを実施しています。今年度は、管内5市町の崖地等について、市町や砂防ボランティア等とパトロールを実施し、周辺住民等へ斜面の現況等を説明するとともに、緊急時の早期避難を呼びかけるなど危機意識の醸成を図りました。

5～7月 河川堤防の緊急点検の実施



令和元年東日本台風の被災を受け、緊急堤防点検を実施し、発見した異常箇所について、順次対策を実施しました。

10月21日 管内職員研修の開催



宮城県建設センターの協力の下で管内の市町職員を交えた職員研修を行いました。工事請負契約や施工上の留意点についての講義は大変有意義なものでした。今後も、同様の研修を通じ、技術力の向上に努めます。

10月22日 スマイルサポーター・河川愛護団体を表彰



日頃からの河川の美化清掃、景観の向上・維持等の活動の功績をたたえ、スマイルリバーサポーター2団体及び河川愛護団体6団体に、知事からの感謝状を伝達しました。

2～3月 河川災害復旧工事の完成



名蓋川

令和元年東日本台風により被災した箇所について、鋭意復旧工事を進めました。

地元の協力により渋井川、名蓋川、田尻川などでは復旧工事が完了しております。その他の箇所についても、順次完了向け、工事を進めています。



田尻川



渋井川

1. 事務所の動き

「宮城県社会資本再生・復興計画」における発展期の3年目となる令和2年度は、「大崎地域の持続可能な発展に向け、生活・産業基盤の整備推進と安全・安心な暮らしを支える社会資本整備を着実に推進する」を基本方針に、以下を目標として、主要事業をはじめ建築指導や建設業許可等について、所内職員が一丸となり取り組んだ。

- 安全・安心な暮らしを早期に回復するための治水対策の推進と防災力の強化
- 生活・産業基盤の確立と圏域間の連携・交流拡大を支援する道路整備の推進
- 既存施設の機能強化と適正な維持管理

今年度の事業費は、現年予算約64億円、繰越予算約47億円（2月補正含む）の合計約111億円であり、令和元年東日本台風（台風19号）により被災した箇所への災害復旧を進めたほか、河川事業では、「大江川床上浸水対策特別緊急事業」による大江川捷水路の整備や渋井川における水門整備等を推進した。道路事業については、並柳福浦線をはじめとする都市計画道路や国道108号岡台工区等における道路改良、また、橋梁耐震化や舗装補修等を推進した。

2. 通常事業

①安全・安心な暮らしを早期に回復するための治水対策の推進と防災力の強化

ア) 災害復旧事業（令和元年東日本台風による災害）

査定決定した全ての被災箇所（98箇所）については、部内各所や建設センターによる発注支援（積算補助）などを活用しながら、迅速な発注に努め、これまでに全ての箇所の施工者が決定した。各現場においては、早期の復旧に至るよう工事の進捗を図っているところだが、中でも渋井川や名蓋川における破堤箇所については、今年度末までに本堤の復旧が完了した。



渋井川復旧状況（破堤箇所）



名蓋川復旧状況（破堤箇所）

イ) 河川事業

「大江川床上浸水対策特別緊急事業」については、上流端における分水施設工事など全ての工事箇所を着工したほか、JR陸羽東線交差函渠部の通

水や市道橋を完成させるなどの工事進捗を図った。

平成27年9月の関東・東北豪雨や令和元年東日本台風（台風19号）で破堤するなど甚大な被害が発生した渋井川では、多田川と渋井川の合流部における渋井川水門工事に着工した。また、冠水被害の多かった深川においては、浸水しない位置に発電機を新たに常設し、迅速な排水を可能としたほか、対策案を検討するため関係する2町を交えた浸水対策検討合同打合せ会を10月に開催した。



大江川におけるJR陸羽東線交差函渠



深川における新たな発電機

さらに、令和元年東日本台風の被害を受け、管内の全ての管理河川において緊急堤防点検を実施し、緊急対応を令和2年夏までに完了させたほか、国土強靱化予算等を活用し、多田川や田尻川等において堤防強化や河道掘削、支障木伐採などを推進し、河道の確保による流下能力の向上を図った。



多田川河道掘削及び堤防補強後の状況



田尻川支障木伐採後の状況

ウ) 砂防事業

美里町素山地内における急傾斜地の対策工事を推進した。なお、管内における土砂災害危険箇所の基礎調査は、既に全箇所完了しており、警戒区域等の指定についても、素山地内における急傾斜地以外全て完了した。



美里町素山地内の急傾斜対策工事の状況

■土砂災害警戒区域等指定箇所数(R3.3 末現在)

| | 警戒区域 | | | | 特別警戒区域 | | | |
|-----|------|-----|------|-----|--------|-----|------|-----|
| | 土石流 | 急傾斜 | 地すべり | 計 | 土石流 | 急傾斜 | 地すべり | 計 |
| 大崎市 | 258 | 277 | 19 | 554 | 205 | 270 | 0 | 475 |
| 加美町 | 26 | 11 | 5 | 42 | 23 | 11 | 0 | 34 |
| 色麻町 | 7 | 9 | 3 | 19 | 6 | 8 | 0 | 14 |
| 涌谷町 | 61 | 41 | 1 | 103 | 50 | 39 | 0 | 89 |
| 美里町 | 1 | 6 | 0 | 7 | 0 | 6 | 0 | 6 |
| 計 | 353 | 344 | 28 | 725 | 284 | 334 | 0 | 618 |

②生活・環境基盤の確立と圏域間の連携・交流拡大を支援する道路整備の推進

大崎市中心市街地のまちづくりと一体となって事業を進めている（都）並柳福浦線と（都）古川中央線では、関連する「大崎市役所周辺区画整理事業」や「古川七日町西地区再開発事業」との調整を図りながら、必要な工事の発注を行った。また、（都）稲葉小泉線では、大江川を渡河する（仮称）大江川捷水路橋の橋台のうち一基が完成したほか、用地取得に伴い必要な畦畔設置等を行った。令和2年10月に事業の認可を取得した（都）鹿島台駅前線においては、調査・設計業務と併せ地元計画説明を行うなど進捗を図った。



(仮)大江川捷水路橋橋台((都)稲葉小泉線)



(都)鹿島台駅前線住民計画説明会

圏域間の連携や交流の拡大に向け、国道108号岡台工区(大崎市鳴子温泉)や(主)古川登米線大貫工区(大崎市田尻)等において道路改良工事を推進した。また、(一)坂本古川線高倉工区(大崎市古川)では長年懸案となっていた難航地権者と合意に至り、用地補償契約を締結した。



国道108号岡台工区完成状況



(主)古川登米線大貫工区施工状況

③既存施設の機能強化と適正な維持管理

国道 347 号鍋越峠では、冬期間の通行の安全を確保するため、12 月 1 日午後 7 時から翌年 3 月 31 日午前 7 時まで夜間通行止めとしているが、今年度は、加えて、地震により安全確認及び雪崩危険度の判定のため 2 回の通行規制を行った。(2 月 14 日午前 7～9 時、2 月 17 日午前 7～9 時)



(国道 347 号鍋越地内)雪崩対策整備状況

これまで冬期間等を実施した斜面点検結果等を踏まえ、必要な雪崩対策施設の整備に着手した。

今後とも、気象データや除雪実績等を蓄積し、円滑かつ適確な除雪作業による通行の確保とともに、雪崩施設の整備を推進し、冬期間における通行の安全性の向上を図っていく。

3. 復興事業

「宮城県新橋梁耐震化計画」に基づく橋梁耐震化事業では、仙北沢橋（(一)沼倉鳴子線）大沢川橋（(主)最上鬼首線）が完成するとともに、大水門橋（(主)古川佐沼線）含む 4 橋の耐震補強工事に着手した。



(一)沼倉鳴子線仙北沢橋の完成状況



(主)古川登米線大水門橋の施工状況

4. 10 年目の課題

①令和元年東日本台風（台風 19 号）被災箇所¹の早期復旧及び被害を踏まえた治水安全度向上対策

令和元年東日本台風（台風 19 号）により被災した箇所については、全ての工事箇所の発注が完了しており、地元住民との調整を丁寧に行いながら、早期の復旧となるよう適切な工事運営を図る。冠水被害のあった深川では、令和 2 年度から行っている地元自治体との浸水対策検討をまとめ、具体的な対策に着手する。その他、脆弱な箇所等が確認されている渋井川や出来川などについては、必要な堤防補強や河積の確保などを行う。

②「大江川床上浸水対策特別緊急事業」の完了

関連する都市計画道路事業等との調整や工程管理，安全対策等の徹底等を図り，令和3年度早期の完了を目指す。

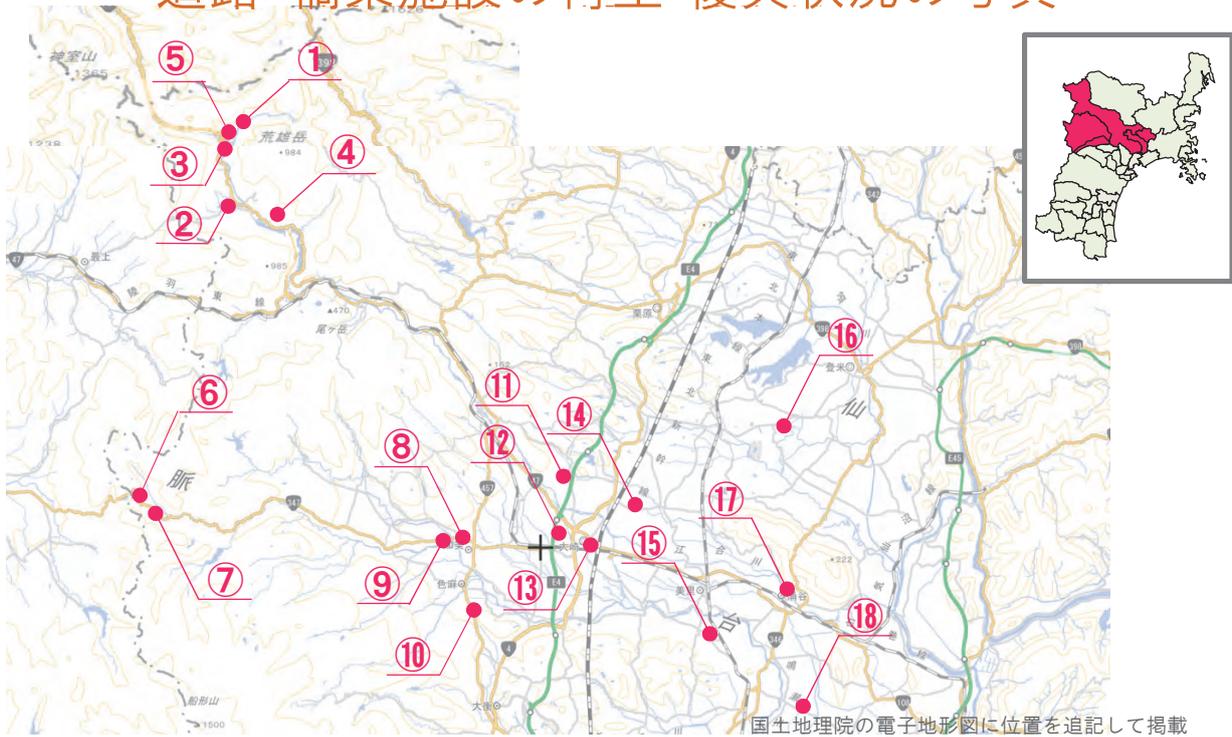
③大崎市内における都市計画道路の整備推進

(都)並柳福浦線，(都)古川中央線及び(都)稲葉小泉線は，関連する「大崎市中心市街地まちづくり」や「大江川床上浸水対策特別緊急事業」との調整，綿密な施工計画や安全対策を図りながら事業を推進する。また，(都)鹿島台駅前線等については，大崎市の駅前利用計画と調整を図り，かつ，沿道利用者の理解を得ながら事業を推進する。

④業務執行体制について

令和3年度は，都市計画道路において電線類地中化を伴う道路整備や現道供用しながらの橋梁工事などがあることや，災害復旧工事の本格化などが想定されることから，所内における柔軟な人員配置，発注者支援や監督支援の積極的な活用などにより円滑かつ適確な執行体制を構築し，事業推進を図っていく。また，所内において，個別課題に関する打ち合わせなどを行うことにより，情報の共有を更に密にして「先手管理」に取り組むことにより，事業調整や課題解決をスムーズに図るよう取り組む。

道路・橋梁施設の再生・復興状況の写真



着工前



① (一) 沼倉鳴子線／仙北沢橋 大崎市鳴子温泉鬼首地内
橋梁耐震補強工事

完成



① 令和2年12月
完成

着工前



② (主) 最上鬼首線／大沢川橋 大崎市鳴子温泉鬼首地内
橋梁耐震補強工事

完成



② 令和2年12月
完成

道路・橋梁施設の再生・復興状況の写真

着工前



③ (国) 108号/岡台工区 大崎市鳴子温泉鬼首地内
岡台道路改良事業

完成



③ 令和2年12月
完成

着工前



④ (国) 108号/柏木原工区 大崎市鳴子温泉鬼首地内
岡台道路改良事業

完成



④ 令和2年12月
完成

着工前



⑤ 国道108号 大崎市鳴子温泉鬼首地内
鬼首大森平舗装補修工事

完成



⑤ 令和2年11月
完成

道路・橋梁施設の再生・復興状況の写真

着工前



⑥ 国道347号 加美町漆沢嶽山内
外川防雪対策工事

完成



⑥ 令和2年4月
完成

着工前



⑦ 国道347号 加美町漆沢地内
鍋越舗装補修工事

完成



⑦ 令和2年6月
完成

着工前



⑧ 国道347号 加美町大門地内
大門歩道設置工事

完成



⑧ 令和2年4月
完成

道路・橋梁施設の再生・復興状況の写真

着工前



⑨ 国道347号 加美町米泉地内
下野目舗装補修工事

完成



⑨ 令和3年1月
完成

着工前



⑩ 国道457号 色麻町大地内
大舗装補修工事

完成



⑩ 令和2年9月
完成

着工前



⑪ (主) 古川一迫線 大崎市古川宮沢地内
宮沢舗装補修工事

完成



⑪ 令和2年9月
完成

道路・橋梁施設の再生・復興状況の写真

着工前



⑫ 稲葉小泉線 大崎市古川字竹ノ内地内
竹ノ内道路改築工事((仮称)大江川捷水路橋A2橋台)

完成



⑫ 令和3年3月
完成

着工前



⑬ (主) 古川松山線 大崎市古川下中目地内
田尻沼部外歩道設置工事

完成



⑬ 令和3年3月
完成

着工前



⑭ (主) 古川登米線 大崎市田尻地内
田尻舗装補修工事

完成



⑭ 令和2年9月
完成

道路・橋梁施設の再生・復興状況の写真

着工前



⑮ 鹿島台高清水線 大崎市松山長尾地内
平渡歩道設置工事

完成



⑮ 令和3年3月 現在
施工中

着工前



⑯ 古川登米線 大崎市田尻大貫地内
大貫道路改良工事（改良）

完成



⑯ 令和3年3月
施工中（上層路盤 完成）

着工前



⑰ (一) 涌谷田尻線 涌谷町涌谷地内
涌谷道路災害復旧工事

完成



⑰ 令和3年3月
完 成

道路・橋梁施設の再生・復興状況の写真

着工前



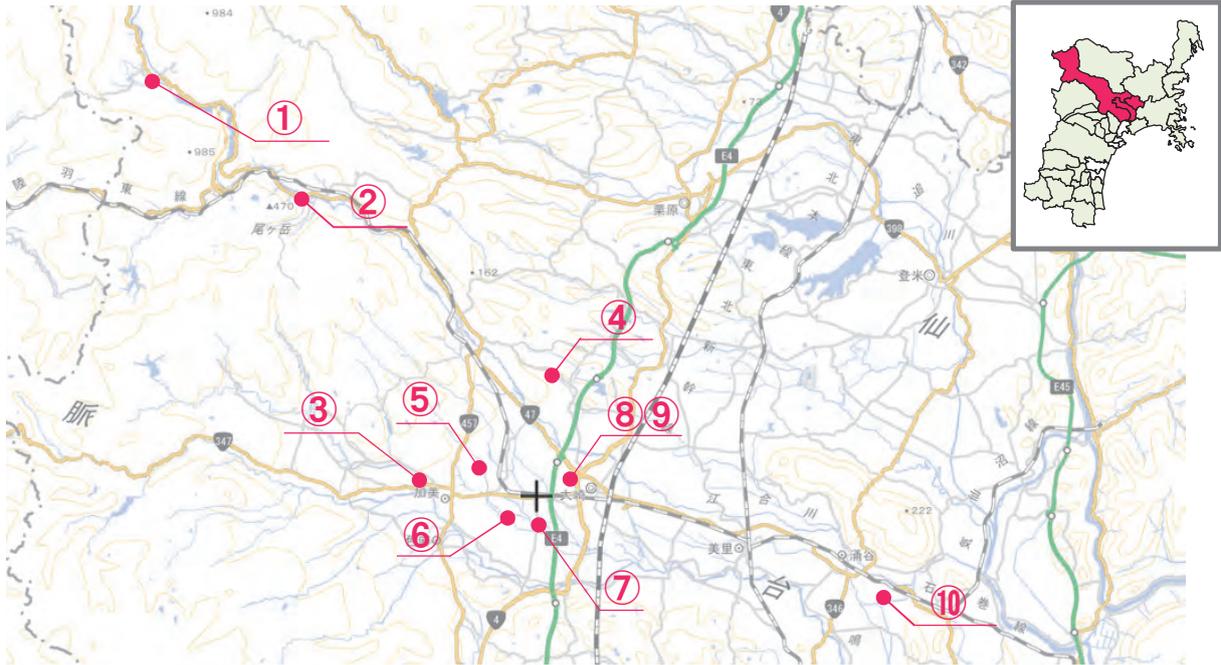
⑱ 石巻鹿島台色麻線 美里町二郷字佐野四号地内
小島歩道設置工事

完成



⑱ 令和3年3月
完 成

河川・海岸保全施設の再生・復興状況の写真



国土地理院の電子地形図に位置を追記して掲載

